意見交換会を行いました

品川区議会では、議会改革の一環として、「区民に開かれた議会」「区民に身近な議会」の実現をめざし、平成 28 年度から毎年、私立品川女子学院の生徒さんとの意見交換会を開催しています。

今回も、品川区議会議員 13 人で構成する議会報告会等準備会議が中心となり、４回目となる意見交換会を開催しました。また、初めての試みとして、高齢者クラブの皆様との意見交換会も開催しました。

以下、概要をお知らせします。

品川女子学院（令和元年11月21日）

私立品川女子学院（北品川三丁目３番）において、今回４回目となる中学１年生と品川区議会議員（議会報告会等準備会議メンバー等 14 名）との意見交換会を行いました。

意見交換のテーマは、生徒の皆さんが地域の課題と感じている「若者の投票参加について」「歩きスマホについて」など５つの課題についてで、課題ごとに班に分かれ、グループディスカッションを行いました。

「選挙割のメリット・デメリットについて」や「歩きスマホをしてしまう要因等について」など、活発な意見交換が行われました。

高齢者クラブ（令和元年12月18日）

品川区役所議会棟にて、高齢者クラブの皆様と品川区議会議員との意見交換会を初めて開催しました。

意見交換のテーマは「高齢者クラブの課題と今後の活動について」で、６つの班に分かれ、グループディスカッションを行いました。高齢者クラブの皆様からは、「会員数が増えない」「活動場所が少ない」等、日常活動の中で感じている課題についての意見が出され、活発な意見交換会となりました。

最後に各班の代表者より、意見交換で出された課題やその対策案などについて発表していただき、参加者全員で情報を共有しました。

区政をきく（一般質問）

令和元年第４回定例会では、区政全般について、12名の議員が一般質問を行いました。
以下、概要をお知らせします。

一般質問

11月28日（木）
塚本よしひろ　議員（公明）
石田　ちひろ　議員（共産）
横山　由香理　議員（自・無）
本多　健信　議員（自民）
高橋　しんじ　議員（無所属）

11月29日（金）
渡部　茂　議員（自・無）
須貝　行宏　議員（品改）
田中　さやか　議員（ネット）
のだて　稔史　議員（共産）
松澤　和昌　議員（自・無）
若林　ひろき　議員（公明）
湯澤　一貴　議員（自民）

会派名は次の略語で記載しています。
自・無……自民・無所属・子ども未来　　自民……品川区議会自民党　　公明……品川区議会公明党
共産……日本共産党品川区議団　　品改……品川改革連合　　ネット……品川・生活者ネットワーク

令和元年12月31日付で「自民・無所属・子ども未来」より会派変更届が提出され、同会派の所属議員数は９名から８名に変更になりました。なお、横山由香理議員は会派に属さない無所属の議員となりました。
（上記の一般質問議員の紹介では、一般質問を行った時点の所属会派を掲載しています）

塚本よしひろ　議員（公　明）

台風15号、19号を受けての防災対策について

問 自主避難施設の定義と運営マニュアルの整備状況は。

答 この施設は、区長の決定で開設し、誰でも利用できる。マニュアルは作成済み。

問 洪水や高潮を想定した避難施設の設置場所の検討と一人ひとりの避難行動を時系列に整理したマイタイムラインを普及促進せよ。

答 避難施設の設置場所については引き続き検討する。マイタイムラインについては、しながわ防災学校の風水害講座の中で啓発していく。

子育て・教育における特別支援について

問 子ども発達相談室や児童発達支援の地域バランスを考慮した拡充を。

答 荏原地区に児童発達支援センターを設置するよう計画を進めている。

問 特別支援教室の各拠点校が担当する学校数や対象人数について、区の現状認識や適正化への考えを聞く。また特別支援教室と学校の連携強化について、現状を一歩前に進める施策の検討を。

答 特別支援教室の利用人数は増加しており、拠点校の増設について検討している。学校との連携は、各学校に1名配置している特別支援教室専門員の専門性を高めていく。

しながわネウボラネットワークについて

問 妊婦対応の講習を受けたドライバーが運転し、シートも破水防止仕様である陣痛タクシーの利用実態に応じた利用者負担軽減を求める。

答 このサービスの情報提供に努める。

問 新生児1か月健診の受診状況と他の任意健診と同様に財調算定の対象となるよう都に働きかけるなど、無償化への考えを聞く。

答 ほとんどのお子さんが受診していると考えられるが、財政調整交付金の協議は、特別区が連携して取り組む必要があるので、今後、研究課題とする。

［その他の質問］
・木造住宅密集地域の不燃化施策等